

## 第5回 西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会 会議録

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
会長	<p><b>■ 開会</b></p> <p>本日はご多忙のところ、朝早くからご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から第5回西京区・洛西地区の新たな活性化懇談会を開催いたします。</p> <p>本日、安枝委員及び八木委員におかれましては所要のため欠席との連絡を受けております。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思います。</p>
会長	<p><b>■ 議事</b></p> <p>本日は、議題1として第4回懇談会グループワークの報告、議題2としてまちづくり活動を行われている各種団体からの意見聴取のために実施しました意見交換会での議論の報告を併せて行い、これを踏まえて議題3の活性化ビジョンの柱立て（案）について議論をしていただきたいと思います。</p> <p>それでは、議題1と議題2について事務局から報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>1 第4回懇談会グループワークについての報告</b></p> <p><b>2 意見交換会の結果報告</b></p> <p>それでは、事務局より議題1と議題2について、併せてご説明いたします。（資料1，2，3について説明）</p>
会長	<p>ただ今、事務局から第4回懇談会グループワークでの議論、また地域で自主的にまちづくり活動をされている団体の代表者から頂いたご意見、これらを含めてこれまでの西京区の活性化について様々な場面で頂いた意見をまとめた資料について説明していただきました。</p> <p>これらを踏まえて、本日は資料4として活性化ビジョンの柱立ての案を事務局に作成していただきましたので、説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>3 活性化ビジョンの柱立て（案）についての意見交換</b></p> <p>資料4をご覧ください。これは資料1～3で説明しました、これまでの懇談会でも出された様々なご意見を踏まえまして、平成28年度に取りまとめることとなっております活性化ビジョンの骨格となる柱立てについて、本日も議論いただくために事務局で取りまとめ案です。</p> <p>これまで「定住」と「交流」という大きな2つの切り口でご意見を頂きましたが、それをまず、資料3に整理しました。事務局ではこれを基にしまして、</p>

	<p>資料3の「定住」「交流」それぞれ整理したものに横串を指すようなイメージで4つの柱を導き出しました。</p> <p>(資料4について説明)</p> <p>以上は、事務局が本日の議論の叩き台として取りまとめたものです。現時点では柱立てとともに【現状・課題】と【施策方向性】だけをまとめていますが、来年度策定するビジョンの最終形としては、これに具体的な個別の事業がぶら下がるようなことをイメージしています。こうしたことも踏まえまして、本日はこの柱立てについてご意見をいただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今、説明がありましたように、このような形で事務局に叩き台となるものを作っていただきました。もう一度よく見ていただいて、これについてご議論いただきたいと思います。</p> <p>色々な形で皆様からご意見を聴取することにより、かなりのものがまとまってきたと思いますが、まだ足りないところもあるかもしれません。「目指すべきまちのビジョン」は大きく4項目に分けて出されていますが、さらに力強くした方が良いと思われるような点がありましたら、ご意見をいただきたいと思ひます。</p>
<p>会長</p>	<p>自身が関わっているNPOとしていくつか行っていることがあり、「意見まとめ」の中でもしていることが2～3あります。それ以外にも、皆さんのご意見が色々出ていますので、我々としては参考にさせていただけると考えています。</p> <p>それから、資料4に③「子育て世代に選ばれるまち」とありますが、我々も若い人たちに来てほしいと考えて色々なことをしており、もう少し具体的に考えていることがあります。それはJRの桂川駅周辺にマンションがたくさん建設されているので、かつてニュータウンに若い人たちがたくさん集まったように、あの大きなエリアで暮らしている若い世代が、休みの日に大原野界隈に遊びに来るように、どのような吸引策を具体的に考えるかということです。</p> <p>近場の人を誘わずに遠くの人を誘うのはなかなか大変なので、近場の人だけでも、色々な所から集まってあそこに住まれている若い人たちの話を聞いて、ニーズを引き出し、たまにはニュータウンも含めて大原野へ行って楽しむようにすることが必要です。緑豊かでピクニックもできるし、美味しいお店もある等、そういうことをアピールすることを想定して、ユーザーターゲットをそこに定めようかと考えているところです。</p> <p>そういう意味で、③のところでも結構ですので、桂川駅周辺を大きな〇にしたいと思っています。</p>
	<p>委員</p>

<p>会長</p>	<p>確かに、今は利便性の良いところに移る傾向があります。桂川駅と洛西口駅の間にはマンションが次々と建ち、そこに若い人たちが入居している状況があるということです。</p> <p>しかし、私は西京区の人口は増えていると思っていたのですが、悲しいことに、減少しているという結果が出ていると聞きました。自分たちでは増えていると思っていたところが、実際は減っているわけですから、どこに原因があるかということも真剣に考えなければならないと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>洛西口駅周辺に人が集まって、こちら側が寂しくなるというネガティブな話をするのではなく、そこから人を呼ぶことを考える。それには集客装置として大きな核が必要だということです。小さなものは色々あるので、小さなものを集めて色々なことを考えることも大切ですが、やはり呼び水になる大きな装置がほしいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>中京区や下京区は人口が増えています。その要因として利便性があると思いますので、逆に自然豊かなこちらの魅力に向かって来ていただける、はっきり言うと、お金を落としてもらえる区にしなければなりません。</p> <p>しかし、それだけの魅力がなければ人は来てくれません。一番大きな問題として交通網の問題もありますが、両方の面から魅力あるまちにしていかなければ、段々と大変な状況になってしまうかもしれません。</p>
<p>委員</p>	<p>交通の利便性は良いに越したことはありません。ここから京都駅まで30分で行けますし、30分で行ける範囲は結構あります。第二外環状道路も開通し、万博会場にも30分で行けますし、トロッコ列車に乗って嵐山にも行けます。このように西京区から色々へ行けるところがあるので、西の玄関口としてのハブ的な機能があると思います。そこから外の人たちを引き込み、近場の人たちは先ほど述べたような魅力で引き込む等、そういう要素を整理して「何をしなければならぬか」ということを考えたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>委員が言われるような形で言えば、大原野とニュータウンの間ももっと近くで交流できるようにしなければならないと思います。それが1つのモデルになって、西京区全体も動くようにしていきたいという思いもあります。</p>
<p>委員</p>	<p>日本にニュータウンはたくさんあるので、その中の1つとして新しい時代のモデルニュータウンくらいの位置づけに持ち上げて、ここの成功事例が横展開されていくという位置づけにすると、色々な面で新しいことにチャレンジできると思います。予算的なことも出てくるとと思いますので、そういうアドバランを掲げてても良いのではないかと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>そういう形で、桂川駅、洛西口駅をもう少し大きく捉えた方が良いというご意見です。</p>
<p>委員</p>	<p>私はこの地域の大問題は洛西ニュータウンの人口減少と考えており、特にマンションの空き部屋が問題だと思っています。若い人たちが来なくなった理由は、もちろんマンションの設備が古いということもあると思いますが、一方で、今の洛西ニュータウンに特徴づけるものがないからではないか、特徴づけることで呼び戻せるのではないかという思いもあります。</p> <p>例えば、今、子どもの数よりもペットの数の方が多いそうなので、公園を交えたペット限定の市営住宅にするとか、あるいは、若い世代が入ろうとしているシェアハウスのようにすることも考えられます。住み方も時代とともに大きく変わっているので、そういう特徴づけを今の市営住宅やURに求めて、住む環境を変えることで人を集められないでしょうか。</p> <p>ペットを飼っている人に聞くと、隣近所の迷惑になるという問題を抱える一方で、ペットの好きな人同士でコミュニティが生まれているようなので、ペットの好きな人ばかりが集まるマンションがあって、横にはペットが遊べる公園があり、ペットの病院があり、ペットのホテルがあるというように、ある特徴づけを行うことで、建替えずに人を集められる方策があるのではないかと思います。</p> <p>確かに、設備面を変えたり、建替えたりして住宅を一新すれば人は集まるとは思います。今の環境から考えて、それはすぐにはできないと思うので、趣味や好きなもの同士が集まるような特徴的なマンション、市営住宅、URにするのも1つの方法ではないかと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ペットも家族という考え方ですね。例えば、防災拠点の避難所にペットは持ち込めませんが、ペットを家族と思っている人にとっては家族をどこで預かってもらえるのか、どこに行けば家族と一緒にいられるか、そういうこともこれからは考えなければならない時代になっているのではないかと思います。</p> <p>それは、今のご意見と同じではないかと思われまして、そういう形で住みやすい環境をつくるという1つの方法かもしれません。</p>
<p>委員</p>	<p>京都市や京都府が文化庁を京都に誘致するという話があり、誘致する場所として京都市周辺と言われていますが、芸大跡地では狭いのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>直接担当している部署ではないので詳細な議論の内容は把握できていませんが、文化庁が京都に来るとしても、どの程度の規模で来るのかもまだ決定されていないような状況です。ただ、芸大跡地はあれだけの面積があるので、狭</p>

委員	<p>いことはないと思います。</p> <p>しかし今、芸大跡地が京都市や京都府の候補地として国の方に示されているかということ、そういう状況はありません。</p> <p>芸大は移転理由として交通の利便性を挙げられましたが、交通アクセスも、京都の西の玄関口として、現状では鉄道も私鉄とJRの2本ありますので、他から来られる方に豊かな京都の自然を見ていただく際に、洛西ニュータウンのように新しいまちでありながら、自然と共存しているようなところも可能性として考えていただければ有難いと思います。</p> <p>文化庁が来ると、それに関連するものが色々出てきますし、若い人たちの雇用促進等にもつながりますので、「必ずしもまちなかでなくても良いのではないか」という声が出ていることを挙げていただけると有難いと思います。</p> <p>そういう意味で、芸大跡地は西の玄関口という位置づけで、若い人の雇用を促進するためのものを考え、そういう人たちが来た場合は、ニュータウンもありますので、そこに住んでいただけたらと思います。そういうことを含めて考えることを進めていただきたいと思います。</p>
会長	<p>今のご意見に関して、私も、働く場がなければ若い人は決して来ないと思います。単に住むだけのまちになると、地域も冷え込んでしまうと思いますので、色々な産業を興していくことが一番大事ではないかと思います。例えば、サービス業も働く場かもしれませんが、それだけになってしまうと形態が変わってしまうかもしれないので、やはり、そこでもものが生まれることが一番大事だと思います。その点を、今後とも1つの形として考えていかなければならないのではないかと思います。</p> <p>いくら住みたいと思っても職場が遠いと大変なので、やはり家から職場は近い方が良いわけです。それが、中京区や下京区へ人々が移ってしまう原因の1つでもあるのではないかという気がします。</p> <p>そういう意味では、西京区全体を魅力あるまちにしなければならぬと思います。桂川の西側になりますが、このように自然のある場所は他にないので、それを活かした魅力ある良い場所にしていかなければなりません。ただ、自然だけでは厳しいので、そこには産業もなければならぬと思います。</p>
委員	<p>③「子育て世帯に選ばれるまち」がキーポイントではないかと思います。先ほども言われているように、中京区はなぜ人口が増えているかということ、御所南小学校の影響が大きいのではないかと考えています。御所南小学校ができた時は700～800人の生徒数でしたが、今は1,400人を超える数に増えています。それは「そこで子どもたちを育てたい」という子育て世帯が移り住んでいるという状況があるからです。</p>

	<p>それに対して西の方は子どもの数が減っている状況なので、いずれ小学校の統合という話も出てくると思いますが、その中では、やはり魅力のある子育てのできる学校が1つのキーポイントになるのではないかと考えています。子育て世帯が移り住んで、空き住宅やマンションの空室も上手く活用できる方策を考えていただけたらと思います。</p> <p>もう1点は交通ですが、京都の市バスは岩倉の方で均一料金になっており、その関係で洛西までは均一料金ですが、大原野になると一気に値段が上がってしまいます。そのため大原野小学校に来られる方は竹の里のところで下車して歩くそうなので、その点でもう少し利便性も高くなると、駅から大原野まで来て、色々と観光できるような部分も考えていただけたらと思います。そういう意味で、均一料金も1つのキーポイントになるのではないかと考えています。</p>
会長	<p>確かにバス料金が上がりますので、その点も足枷になっている可能性があるかもしれません。</p>
委員	<p>③「子育て世帯に選ばれるまち」の【施策方向性】の最後に「流入人口の増加では、どこから呼び込むのかターゲットを明確にすることが必要」と書かれていますが、この意味がよく分からないので、どのような意見からこの文章が出てきたのか教えていただきたいと思います。ターゲットとは場所のことでしょうか。</p>
事務局	<p>場所のことです。子育て世代を呼び込むための施策を打つ時に、どこから呼び込みたいかということが明確になっていけば、効果的な広報やPRができるという意味です。</p>
委員	<p>学校も大きなポイントで、洛西地区で特徴を活かしたコミュニティスクール、特徴を活かせるような学校づくりができると良いと思います。テーマを持って住宅を考えるという話があったように、教育もテーマを持って「こういうテーマを追うことができる」「こういう子どもたちができる」と打ち出せるようなものがここにはあると思いますので、資源を活かす中でテーマを明確にすることは大事です。</p> <p>その中でもう1つ、子育てを考える時には、やはり3世代同居も大事だと考えています。実際に3世代同居の状況をつくるということではなく、3世代同居のモデルになるまちづくりを行うことによって、高齢者の活かされ方として、高齢者に手伝ってもらうことを子育ての中に入れていくとか、両親ともに働きたい場合は、子どもたちに関しては安心できるような、まちぐるみで3世代同居のような形になると良いのではないかと考えています。</p> <p>したがって、色々なことがつながるという視点で、4つのテーマを考える上</p>

	<p>でのもう1つのテーマのような形で目指す方向や打ち出すものを持てると、もう少し1つにまとまって、それを実現するための4つのテーマという形にまとめられるのではないかと思います。</p> <p>また、私は「ふらっと・西京」に何回も参加していますが、先日、桂ヴィレッジフェスの第1回目が桂駅の方で開催され、「続く祭りを」と言われていて、500人見込ものところを1,500人も参加があったということなので、意外と皆さんがそういう祭りに関心があって集まることがよく分かりました。店舗を出される人もすべて西京区の方ですので、これまで知らなかった店に対しても「美味しくて良かった」というような情報が一人ひとりの体験をもって知られた、良い祭りだったと聞いています。</p> <p>また、そこで紹介していただく情報誌も、住んでいる人にスポットを当てていて、知らなかったことを知る機会になると感じましたので、一人ひとりの活躍や美味しいお店を知るためには情報誌も良いのではないかと思います。</p> <p>このように、色々なことをしていく中で、「これは良い」と思うことを行っていくと、長いスパンの目標がその都度出てくるのではないかと思います。今できることを考えていくことが大事だと思っています。</p> <p>私もお話を聞きながら思ったのですが、西京らしさ、特性を創り上げることも大事だと思います。「西京区のこういうところに、こういう学校がある」「こういう特性で、他所にはないこういう魅力がある」等、そういうことが必要になるのではないかと思います。住むにしても何をやるにしても、他所にはない「西京らしさ」を創り上げるのも大事な魅力かもしれないと感じましたが、どうでしょうか。</p> <p>私自身西京区の住民ですが、西京の魅力をまだ十分に分かっていない部分があるように思いますので、まず身近なところから始めることが大事ではないかと思います。先ほどの桂川駅周辺の話もそうですが、その部分を1つの核として、この4つの柱を支えていくには、住民自身が最終的に地域外の人たちに魅力を伝えられるだけの交流も含めた仕組みがきちんとできているかどうかということが、大きな視点としてあるのではないかと思います。</p> <p>大きな課題として、住宅の改良や高齢者の対応等がありますが、やはり住民自身がそういう魅力を十分に分かった上で、またそういう交流を仕組みとしてできているのかどうか。どれだけ外部から人を呼び込んでも、定住させられる仕組みがなければすぐに出て行ってしまうと思うので、そういう部分は大事ではないかと思います。</p> <p>まちのビジョンがあったとしても、やはり、そういう部分が根底になければならないと思うので、そこが一番大事だとずっと思っています。</p>
会長	
委員	

委員	<p>今回の活性化ビジョンの柱立ての策定にあたっては、芸大の移転が契機になっていると書かれていますが、芸大の跡地について具体的に書かれているところが見られません。この柱立ての中に落とし込まなくても良いのでしょうか。</p>
委員	<p>活性化ビジョンを作る上で芸大跡地にどこまで言及するのかということは、この場で議論していただかなければならないと思っています。</p> <p>この懇談会が立ち上がった大きな目的は、芸大の移転を契機に西京区全体の活性化について議論しようということです。その中で、芸大の跡地についてどこまで書くのかというと、例えば、ある程度は書く案もありますし、あるいは、もう少し先で、まさに芸大の跡地に焦点を当てて、活性化ビジョンで策定されたものを背景として「跡地をどうするか」ということを考える案もあると思います。それは来年度にしっかりと議論していただいた上で、最終的に、まとめていくことになると思っています。</p>
委員	<p>つまり、現段階では曖昧な感じでしか書けないということでしょうか。</p>
委員	<p>現在、懇談会で議論されている将来の西京区のあるべき姿を見据えながら、跡地の活用については考えることになろうかと思っています。また、京都市の立場としては、跡地は市域全体、あるいはもっと広く影響して活性化を及ぼすようなものにしたいと思っていますので、もう少し広い見方も必要ではないかと思っています。</p>
委員	<p>今の段階では②のところの産業・雇用の活性化や、芸術・アート等のメニューを提示しているというスタンスでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>そのように理解していますし、ご意見があればここで議論していただければと思います。</p>
委員	<p>例えば、②の「地域の資源を活かした～」には、他府県で行われている「道の駅」や「地産地消」等のキーワードも盛り込んで良いのではないかと思いますし、子育てのところでは、例えば、インクルーシブ教育等、その辺りに特化したものをするのか、しないのかとか、そういうところまで検討するべきなのかという感じはあります。</p> <p>高齢化が進んでいるということであれば、提案されているサイクリングロードなどはすでに行っているところもありますので、そういうものを盛り込んでいくのか、これから具体的に詰められていくのではないかと感じています。</p>



会長	<p>やはり、跡地だけで箱モノを考えるのではなく、全体として考えていくためには、西京区全体がまだまだ立ち遅れているところがたくさんあると思います。これを機会として、皆が良くなることを考えていかなければならないと思っています。そのためには、この機会を逃すと次はないのではないかとというくらいの思いがあります。</p>
委員	<p>活性化ビジョンの柱立てについては、色々なビジョンの中で必要なものが提示されていると感じましたが、あれもこれも同時にできる話ではないので、どのような優先順位で具体化のプランを検討していくかということになっていくのではないかと思います。</p> <p>その中で、仕事上で色々なベンチャー企業の創出に関わる立場としては、「つながる」「会社の持つ資源」「マーケットに選ばれる」等、同じキーワードが出ていていると感じています。</p> <p>そういう視点で考えますと、色々な施策を打ち込むに当たって、やはり効果的に①が一番重要ではないかということで最初に挙げられていると思いますが、「地域の活動がつながるまち」としては、その地域の方々が自分たちのためだけではなく、全体の最適のために色々と連携できるような仕組みが必要だと思いますし、企業でもそういう仕組みのあるところが上手くいっているように思います。</p> <p>何かをしようとする「絶対反対」と言う人が出てきたりしますが、そういう対立的な意見が出てきてから調整しようとする大変なので、予め多様な考え方や多様な立場の方がつながるようなコミュニティを何らかの形で作ることが必要かもしれません。濃い薄い色々あると思いますが、そういうところから着手される方が良いのではないかと感じています。</p> <p>もう1点、産業振興の件は私が担当する分野で、京都大学と連携して西京区に新しいベンチャーを創出する活動をしています。多少の問題点があります。インキュベーション施設は、ある一定期間、人間の成長で言えば生まれてから幼稚園、小学校低学年くらいまでを想定した支援施設になっていますが、実は、実際に自立して活動される場が非常に重要であり、そういう意味ではビジネスが立ち上がった企業を立地させるスペースが重要になります。そう考えますと、会社のビジネスによって良し悪しはあると思いますが、芸大の跡地は重要になると思います。今、京都市内でそのような場所を探すのは難しいので、そういう方法が考えられるのではないかと感じました。</p> <p>ただ、実際に桂ベンチャープラザに来られている人たちは、もちろん西京区から来られる方も多いのですが、まだまだ京都市内中心部や便利であるがゆえに高槻市から通勤されている方もおられます。そういう意味では、利便性だけではなく、他の要素が重なって西京区に住むことが好まれるようになるとさらに良いと思います。</p>

<p>委員</p>	<p>地元では、京都市が財政的な問題から、将来、芸大跡地を民間企業に売却してしまうのではないかと心配の声も出ています。芸大が西京区移転してくるにあたり先祖代々の土地を売って提供したが、芸大移転後はどうなるのか、地元としては興味を持っている方がたくさんおられます。</p> <p>一方で、先日、マンションについて調べたところ、大小を含めて70棟くらいありましたが、芸大生が住んでいるところや、家族で住んでいるところ等があり、自治会加入率が低いのは事実かと思えます。</p> <p>予定では、平成35年に芸大が完全移転されるということですので、いかに跡地を有効利用できるかということと、先ほど言われたように、西京区全体としては、人口減少の問題を考えますと、ニュータウンも含めた空き部屋活用が重要になると思えます。</p> <p>芸大生が住まれているマンションは15棟くらいあるようですが、芸大移転によって芸大生が退居した後は、マンション経営をどうするかという問題もあると思います。30年以上経っているマンションなので、今後、京大の大学院生に入ってもらえるような活動が行われるとしても、京大までは少し遠いという問題もありますので。</p> <p>ただ、もっと厳しい意見が出てくると思っていました、今のところは冷静に見ておられるのか、厳しい意見はあまり出ていません。しかし、実際は厳しい意見も持っている方がたくさんおられると思いますので、今後の動向については、地元住民に説明できるだけのことが必要だと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>本日のテーマは、活性化ビジョンの柱立てとなっていますが、要は、資料の②が③になり、③が④になったということですね。正直な感想としては、意見が抽象化されて段々と面白くなっているという印象です。何とか②に出ているユニークな側面を④に継承しなければならないと思いますが、まずは④の柱立ての前に、まとめ方のプロセスについて気になることが4点ほどあります。</p> <p>1つ目は「西京区をどうするか」ということを言わなければならないということで、本日の会議もそうですが、そういう枠がかかっている、行政としてもそのようにしなければならないものと思われまます。</p> <p>ただ、参加されている方は、西京区民という意識が全くないとは言えませんが、最も重要な帰属地域という意識を持って発言されているわけではなくて、もっと個別に自分が生活しているところという立場で発言されています。だからこそ、それなりの説得力があり、魅力的な話が出てくるわけですが、それを西京区としてまとめなければならないという力が強すぎると思います。</p> <p>まとめる立場からは「そうもいかない」という話があるかもしれませんが、「西京区としてどうするか」ということにあまり力点を置かず、逆に個性的</p>

な地域が集まっているのが西京区の特徴ですから、もっと固有名詞が出てくるとか、地域ごとの問題を最後まで引きずっている部分も必要ではないか、そうしなければ、どこも同じ内容が残ってしまって西京区らしさがなくなってしまうと思います。したがって、もう少し固有名詞や地域ごとの課題や違いが強調されても良いのではないかと思います。

要するに、整理の仕方としては、共通のものを見つけようと考えたとせつかくのユニークな意見が消えてしまって段々と特徴が薄められてしまうので、もっと固有の問題を考えた方が良くと思います。

2つ目は、区民は色々な立場から発言されていますが、少なくともまちづくりに関わる問題としては、「私はどう考えるか」「私自身がどうするか」というように「私たちの問題」としてどのように考えるかということがまちづくりの議論として最も重要であり、「行政からどのようなサービスを受けたいか」という話は出ても良いけれども、それはまちづくりの議論としては等価ではないということです。要は「こうしてほしい」というニーズを集めてビジョンにするのではなく、一人称の議論を中心にピックアップして、皆さんがどのように生きていこうとされているかということを中心にまとめるというスタンスがもっと強く出た方が良くと思います。

したがって、取捨選択するとすれば、行政の立場からすると「行政にこうしてほしい」ということを受け止めることは当然、重要な行政のスタンスの1つだと思うので、すべての意見に応じることは大事かもしれませんが、このまとめとしては、住民が言われている事柄をまとめるということからすると、一人称の議論を重点的に拾った方が良くと思いますし、むしろ、サービス享受的な意見は切っても良くと思います。

3つ目は、「若者」という言葉が色々なところに出ていますが、「若者」とは何かというと、最後のまとめを見ると「子育て世帯」を指していて、教育環境に落ちていくような感じになりますが、基となる資料2ではもっと多様な話が出ていて、子育て世帯ももっと幅広い議論が出ているように思います。また、学生の話も出ていますし、同じ「若者」でも流動層としての学生の問題と、そこで生活をして子どもを育てる父親、母親の問題では意味が違うので、もう少し「若者」の中身について深掘りした方が良くと思います。

例えば、左京区の大原は、洛西ニュータウンどころではないほど人口減少問題が深刻で、子育ての話も当然出てきますが、小さい頃から大原の良さ、地域の資源等との関係を本当に子どもが学習しているかということ、学校の勉強ばかりしていて、あまりそのような教育をされていないのではないかと思います。小さい頃からもっと地域と関わる環境を育てなければならないし、何よりも親がそこで楽しく暮らしていて、それが子どもに伝わるのが大事です。

大原では、ある学年まで過ごす、必ずその後は大原以外のところで就学したり、就職したりするわけですが、その人たちが子育て世代になって大原に帰

って来るかという、そういう楽しさが伝わっていない限り、ポジティブな意味で「帰りたい」と思わないのではないかという意見が出ており、確かにそうだと思います。逆にいうと、すり込みをきちんとしなければ、大人になってからいくら情報を提供しても、本当にそう思っていることになりません。やはり、小さい頃から子どもが地域と関わって、親自身がそこで生きがいのある生活をしていない限り、いくら子どもにそういうことを言っても無理だという意見が出ていたということで、私はなるほどと思って聞いていました。

一方で、洛西の議論を始めた頃に、日本で一番高齢化と人口減少が進んでいる初期のニュータウンとして兵庫県の明舞団地を参考例として少し交流があったと思いますが、その明舞団地に住んでおられる高齢者の子ども世帯にアンケートをとったところ、「誰も帰って来る気持ちがないのではないか」という予想に反して、意外と「こういう条件が揃えば、自分が生まれ育ったニュータウンに帰りたい」という思いがあることが分かりました。つまり、必ずしも自然環境がどうなのかという問題ではなく、ニュータウン自体がその人にとっては生まれ育った場所であり、かけがえのない故郷になっているということです。

それはどこでも同じで、子どもが生まれ育って、それなりの豊かな経験を積んでいるところがあれば、「帰りたい」という思いが生まれるわけです。明舞団地は千里ニュータウンとほぼ同時期に日本で最初にできた大規模ニュータウンで、千里ほど大きくはないし、交通の利便性もあまり良くないのですが、そこで生まれ育った子どもたちは、そこにそれなりの思いを持って育てていて、今は他の場所で働いているけれども、「こういう条件が整ったら帰りたい」という人もある程度の割合でいることが、そのアンケートで分かったのです。もちろん、そこでどのような経験をどれだけしてきたかにもよりますが、「帰って来たい」という人もいるわけですから、そういうことも含めて考えると、若者の行動はもっと深く考えなければならぬと感じました。したがって、一気に1つの話に括ってしまわない方が良いのではないかと思います。

4つ目は、子どもの問題が資料にもたくさん出ていますが、子どもの生育環境や高齢化の進展を考えますと、高齢者の話はすでにたくさん出ているからもう良いというわけではないと思います。高齢化の問題は大きな課題です。その一方で、先ほどから自然との関係についての話が出ていましたが、自然と子ども、高齢者を結び付ける論点をもう少し深掘りした方が良いのではないかと思います。例えば、心と体の健康の問題は、自然と子どもと高齢者の議論をする時に欠かせない大事な話ですが、「健康」というキーワードがそれほど出ていません。個別のものを結び付けると考えると、やはり健康の問題はもっとクローズアップすべきではないかと思いますので、そのようなまとめ方もあるように思います。

直接、誰かが言ったことをそのまま持ち込むのではなく、重要なものを結び

付けて、そこで見出されるキーワードについて深く考えることも、ビジョンを考える時には必要ではないかと思います。西京区の「健康」の問題はそれぞれの場所によって意味合いが違ってきますが、それぞれの地域の特性や資源を活かせる文脈にならないかと思った幸いです。

「健康」に限らず、複数の重要な問題を関連づけていくことで出てくるキーワードを見つけ出して、それをビジョンに組み込むという作業も行うと、オリジナリティがもっと出せるのではないかと思います。

以上の4点が、プロセスについて感じたことです。

そして、今のようなことからもう一度活性化ビジョンの4本の柱を見ますと、①はまさに地域コミュニティやまちづくり、ソーシャルキャピタルに関連する部分で、ここは意見も多く、この懇談会自体もそこにポイントがあるということで、一番重要だと思いますが、前述のように、地域固有の問題や一人称の問題やクローズアップすべきテーマがもう少し出ていても良いのではないかと思います。

また、先ほど、富田委員から情報誌の話が出ましたが、色々なメディアや、どのように関連づけるのかという方法について、つなげるという目標だけを言うのではなく、どうすればつながるのかということについてのビジョンを示す必要があると思います。いずれにしても、これは大事な話であり、私もこのテーマについては重要だと思います。

②、③、④については、再編もあるのではないかと読んでいただきました。②の話は地域の資源をどう活かすかということなので、産業や雇用の話として大事です。一方、④は広域の交通網の話ですが、玄関口の魅力というよりも広域の交通網が段々と整うことによって、これを仕事等にいかに活かすかという方が大事ではないかと思います。玄関口をどう整えるか等、玄関であることを特に強調しなくても、色々な意味で交通の要衝になっていて、色々なところから人・モノ・情報が入って来るという状況をどう活かして、ここで仕事を生み出すかというように考えた方が良いのではないかと思います。つまり、②と④を合わせて産業や雇用の問題と考えた方が、ビジョンとしてはより明確な方向性が出るのではないかと思います。

他方で、③は暮らしの問題ですが、前述のように子育て世帯ということだけではなく、もう少し幅広い視点があった方が良いのではないかと思います。例えば、高齢者の問題も少し入った方が良いのではないかと思いますし、子どもについても、保育所の話や子育てママの悩み等の問題点が色々出ていますので、そういうものも含めて、教育の話だけではなく、もう少し幅広い子どもの生育環境の問題として考えた方が良いと思います。

また、流動層としての学生等の問題、つまり、ずっとそこに留まる人ではなく、流れていく人についての暮らしの問題も、ここで扱うことが大事だと思います。そういうものも含めて、暮らしの問題をもう少し膨らませた方が良いの

	<p>ではないでしょうか。</p> <p>したがって、4本の柱を3本にして、③をもう少し膨らませて、②と④を1つにするように考えた方が良いのではないかと思います。ただし、今思いついた案であり、もっと深く考えて4本になったと思いますが、そういうことも含めて検討していただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にもご意見がありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>色々な方の意見を聞かせていただいた中で、仮に企業がこのビジョンの柱立てをしたらどうなるかと考えると、やはり実現可能な問題と優先順位の話が出てくると思います。また、それをいつまでに実現するのかという時間軸の話が出てきます。</p> <p>つまり、企業はビジョンを立てたら成し遂げなければならないわけですが、実現の可能性が低いことも含めてしまうと書いただけになってしまうことが懸念されるので、ビジョンの柱は成し遂げられるくらいの内容にします。それで、今すぐできることについては、すぐに着手する。先ほど地域を知ってもらうための会報誌の話もありましたが、有効だと思います。例えば、私が企業として住民を増やそうと思うなら、PR冊子を持って不動産業者に行くと思います。そういうことも、今すぐにしようと思えばできると思います。</p> <p>そういうことも含めて、ビジョンを立てた以上は達成できるくらいの内容にして、時間軸を決めて、誰がいつまでに成し遂げるのかというところまで作らなければならないと思います。地域の方から色々な意見や要望を伺ってまとめている中で、書いただけにならないようにはすべきです。</p>
<p>会長</p>	<p>これまで2年間取り組んできましたが、今年度末には中間報告という形で「地域はこう思っている」ということを市に伝えたいと考えています。皆さんには色々な思いがあるので、その思いをぶつけようかと思っています。それをまとめるとか、これからどうするかということを考えることも必要ですが、「西京区に住んでいる人はこういうことを思っている」という、今まであまり前に出てこなかった部分をもっと前に押し出した中間報告になると良いのではないかと、それが一番大事なことではないかと思っています。</p> <p>そして、その中で「何をどうしていくのか」ということについては来年度から形を整えていくことも大事ではないかと思っていますが、いかがでしょうか。最初は3年で報告しようと言っていたところを、2年時点で中間報告することにしたのは、そこにポイントを置いたわけです。3年後では、ある程度形ができたものを持っていくことになると思いますが、小さな意見も大事だと思いますので、2年時点では消えていないそういう意見もあることを中間報告したいと思ったしだいです。</p>

委員	<p>位置づけの問題だと考えています。会長が言われたような方向でビジョンを考えられるなら、それでも良いと思います。</p> <p>実際に大事なものは、行動する計画そのものなので、実施計画をどうするのか、具体的な地域特性や様々な意見を入れてそこを明確にすることが重要だと思います。どこまで行っても、ビジョンに具体的な行動まで落とし込めるとは考えていませんし、ビジョン自体はまとまるようにまとまるのかなと思っています。</p> <p>しかし、そこで皆さんで思いを共有できることは大事なことだとも思いますので、これを共有できたうえで、次に実施計画をどうするかというところが本場の議論になるのではないかと思います。</p>
会長	<p>私はこのような立場ではありますが、ある面では西京区の自治連合会長という立場もあります。その立場から言いますと、次年度は西京区にとって40周年という1つの区切りでもありますので、色々な形でチェンレンジする40周年にしても良いのではないかと考えています。色々なことをパイロット的に行うということで、全部はできなくても、例えば、今まで大原野で開催されていた「風土・foodフェスタ」などをそこだけで終わらせるのではなく、使えるところを西京区全体に広げていくと、それが1つの活性化につながるのではないかと思います。そのためには、待つのではなく、40周年という時機を上手に利用して、何らかの形で色々な取組みをしてみることも大事ではないかと思います。</p> <p>したがって、「失敗しても良いから1度やってみよう」「こういうことも1度試してみよう」という姿勢が大事ではないかと思います。そのためには、取り敢えずこの2年間の取組みを発表した方が効果的だと思います。そういう意味では、来年度は皆さんからご意見を頂く中でそういうことを行いたいという思いもありますし、地域の色々な団体から出てくる意見も踏まえた中で、それを実証していく形で色々なことをスタートさせると良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>もう1つ、この会議が始まった当初は「芸大跡地をどうするのか」を議論する会議だと思い込んでいたところがありましたが、そこからスタートしても難しいので、まず西京区全体の思いをきちんと整理して、そこから芸大跡地はどうあるべきかということが見えてくるだろうという話になり、取り敢えず芸大跡地は置いておいて、全体の話をしてはどうかということからこの会議が始まったと思います。</p> <p>それで、共有できそうなところまでまとまってきたわけですが、次はそれを踏まえて、「芸大跡地をどうするのか」という本丸の議論をこの会議で行うの</p>

<p>会長</p>	<p>か、それはビジョンで終わっているのです、それをひな型にしてそれぞれで活動することになるのか、行く末が分からないのが多少不安な点です。</p> <p>正直なところ、皆さん方のお力を頂く中で、このプロジェクトを幅広くしていきながら、実現していかなければならないと思います。“絵に描いた餅”で終わってしまっただけは何もならないので、やはり、食べられるものにしなければなりません。それが一番大事なことです。そのために実現可能なところまで上げていきたいと思っています。</p> <p>今回、このような形で市長に向かって「皆はこのような思いを持っています」という話をしようと思っているわけですが、その中で、できればすぐに、各自治連合会長にも「このような状態です」と全部説明して、他の色々な団体や活動しているところにもご提示しながら、また府議員や市議員の方々にも我々の思いをお示ししたいと思っています。それによって、皆が1つになればなりません。せつかく2年間取り組んできたものを、皆さんが共通の意識として持っていただくことが大事です。それで1つになって、色々な形でアイデアを頂きながら進んでいかなければ、実現できないと思います。そのためには、色々な形でこういうものを示していくことが大事ではないかと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>会長が言われたように、皆さんに共通の認識を持っていただいて進めていくことが一番だと思いますし、また、将来的にどうなるのかという話も大事だと思います。</p> <p>段々と色々なことができてきて、ビジョンの柱立てまで持って来ていただけたという思いもありますし、住民の方々が興味や関心を持って色々な意見を持たれていることがこの会議の下支えになると思いますので、そういう方々のご意見を十分に吟味して、それぞれの方が持っておられるスキルを我々も一緒に勉強しながら、先に進んでいただけたらと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>芸大の跡地問題をきっかけとしたこの懇談会は、メンバーも洛西エリアの方が多いので、最初はこれを西京区全体の問題として議論することが難しいという意見がありました。それが今、支所の立場としては、西京区全体の議論にして良かったと思っています。</p> <p>色々なプロジェクトが西京区の中で進んでいて、例えば、阪急の桂駅から洛西口までの高架下の件は、広報発表では洛西ニュータウン大原野の入口としての洛西口と書かれていましたが、桂駅や嵐山に観光に行かれる方も来ていただけるような呼び水になるのではないかと考えています。したがって、ともすれば洛西地域と桂の文化は違うと思っていましたが、桂ヴィレッジフェスティバルの話もあったように、楽しいことをたくさんされている方々がおられます</p>



	<p>し、大原野の農家の方々やニュータウンで活動されている村下委員，それから地域に貢献されている高島屋など，そういう方々を行政はまだつなぎ切れていないと痛感しています。</p> <p>また，先ほどベンチャーの話をしていただいて，実際にどのようなことをされているのか，私も不勉強で知らなかったのですが，起業のために広い場所が必要な場合もあるかもしれませんが，広い場所でなくても良い場合は，ニュータウンのハブセンターを使っただけで等，色々とミックスしてお話できる場があれば良かったと，今反省しています。そういう意味で，またお話をさせていただきたいと思います。</p> <p>さらに，日文研も桂坂小学校と色々な交流をされていると聞いていますが，私たちはそういうことができていなかったのので，他の大学や色々な施設の方々とつなぎ，そういう方々を企業とつなぎ，地元の方やNPOの方々ともつないで，さらに洛西エリアだけではなく，桂も含めて嵐山東などの地域ともつなげるようにするきっかけとしての懇談会ということで，洛西支所に限定した仕事の仕方ではなく，西京区全体の仕事へ広げるきっかけとなったこの懇談会は有難かったと思っています。</p>
会長	<p>芸大は30年間ありましたが，地域とのつながりができたのはこの5年間でした。この失敗はもう繰り返してはならないと思います。今ある京大もそうですが，他に京都経済短期大学をはじめ，色々な学校がありますので，学校と地域のつながりがもっと早くできるようにすることが大事だと思います。</p> <p>そのためには，早くアクションをすることも必要です。この5年間で芸大との関係が良くなったので，今になって余計に芸大の移転が大ごとになっていますが，それは他の学校も同じだと思います。京大も他の学校も，そのくらい経たなければつながらないような，そういう失敗を2度としてならないと思いますので，そういうことも含めた中で，皆で考えなければならないとも思っています。</p> <p>残り時間も少なくなり，まだ意見を言い足りない方もおられるかもしれませんが，本日は活発なご意見を賜りまして，ありがとうございます。ご議論いただきました内容を踏まえまして，事務局に案を再度作っていただき，良い形のものにしていきたいと思っています。</p>
会長	<p><b>4 その他</b></p> <p>最後に，次回の懇談会について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今年度は懇談会をあと1回予定しています。本日もご議論いただきました内容を踏まえまして，再度，事務局の方で活性化ビジョンの柱立て(案)を取りまとめたいと思いますので，ご議論，ご確認を頂ければと思います。</p>

会長	<p>なお、今年度、予定しております中間報告につきましては、次回の懇談会後に行う予定としておりますが、どのような形で行うかについては、今後、会長とも相談させていただき、次回の懇談会でお示しできればと考えております。</p> <p>今の事務局の説明に対して、何かご意見がありましたらご発言いただければ有難いと思います。（意見等、なし）</p> <p>特にご意見がないようでしたら、これで第5回西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会を終了させていただきます。</p> <p>どうも、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
----	--